



新聞で
読解力アップ!

ワークシート

コロナで飲食店休業、利用客減

「取引先の飲食店やホテルの休業で、4、5月の出荷は前年同月から半減した。高砂酒造(旭川)の広野徹企画部長はこう話す。同社は外出自粛に伴う巣ごもり需要に活路を求め、4月下旬にホームページを刷新し、使い勝手を改善し、日本酒に加え、直営店限定の酒かすを使っ

新型コロナウイルス感染拡大に伴う飲食店の休業や利用客の減少などで、日本酒の出荷量が激減している。道内の酒造会社は通販サイトの商品数を増やすなどして対応するが、減収分をカバーするにはほど遠い。出荷減が続けば原料の酒米の作付けにも影響することから、農家も危機感を募らせている。

(岩内江平、土屋航)

日本酒の出荷量激減

読解力は学力の基本です。記事を読んで、問題にチャレンジしましょう。

酒米作付けに影響も

「取引先の飲食店やホテルの休業で、4、5月の出荷は前年同月から半減した。刷新後の通販売り上げは前年同期比1.5倍で、広野部長は「減収幅を考えれば焼け石に水だが、多くの人に商品を知ってもらえる機会に」と期待する。国産酒造(留萌管内増毛町)も、併設する売店で限定販売する予定だった特別純米酒などを通販サイトで



「醸造技術の高」他の酒造会社も販売を増やすため、「醸造技術の高」をアピールする(日本酒)、「コロナの影響が少ない量販店での取り扱いを増やしたい(福司酒造)とするものの、抜本的な対策は見当たらない。

北海道酒造組合(札幌)によると、道内の蔵元12社の出荷量は2月以降右肩下がりで4月は前年同月比60%減。足元では持ち直しの兆しが見られるものの、門田昭事務理事は「経済状況が回復するまでは厳しい局面が続く」とみる。

来年分の蔵元からの酒米の発注は5月の田植え前に終わっており、発注量の減少は限定的とみられる。ただ、業界内では「再来年の新酒分への影響は大きい」との見方が強く、JAあさひかわ酒米部会の今野雅義部会長(48)は「うるち米より高く売れる酒米の発注が減れば、収入減は避けられない」と危機感を強めている。

『北海道新聞』2020年6月19日(金) 朝刊

(1) について、次の①、②に答えなさい。

① その理由を簡単に説明しなさい。

② ①で答えた理由で出荷量が減少し始めたのは、何月の出荷分からですか。

(2) とありますが、農家は、具体的にどのようなことを予想して危機感を強めているのですか。